

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-35	高等学校	地理歴史	世界史B	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	世 B 309	世界史B 新訂版		

1. 編修の趣旨及び留意点

教科書の編修にあたっては、複雑で多様な世界の歴史を生徒が分かりやすく学べる内容となるように意識し、各時代・各地域の基本的な歴史的事項を網羅するとともに、歴史学の新しい研究成果をふまえた多様な視点から記述した。そのさいに地理的条件との関連付けに配慮したほか、広い視野に立って日本の歴史や文化を見る目を養えるよう、各時代における日本と世界を関連付けて扱うことに配慮した。さらに、生徒がさまざまな図版資料や統計資料を活用しながら主体的に学び、歴史的思考力を培うことができるよう工夫し、日本国民として国際社会で主体的に生きていく力の育成を図った。

2. 編修の基本方針

- 2条の目標を達成するため、次の通り編修した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史をはじめとする歴史学の最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラム「世界史の探究」や、各時代における世界諸地域の関係を概観することができる特集「□世紀の世界」を設けた（第1号）。
 - ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、彼らとその能力や創造性によって世界史上に果たした意義などを記述したほか、特集「世界史への扉」や「テーマ」において生徒が主体的に学習できるよう課題例を設けた（第2号）。
 - ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、各時代・地域の女性史を扱ったコラム「世界史のなかのジェンダー」を設けた（第3号）。
 - ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、第1～5、7章の章扉で諸地域世界の自然環境を扱ったほか、地球環境問題と国際的な取り組みについての記述を掲載した（第4号）。
 - ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、各時代の日本の歴史について詳述したほか、同時代の世界と日本の関わりを示す事例を取り上げたコラム「世界史のなかの日本」を設けた（第5号）。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、地勢図によって世界の自然環境を概観できるようにした（第4号）。 ・伝統と文化を尊重するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、日本を含む世界の代表的な美術館・博物館と所蔵品を取り上げた（第5号）。 	前見返し 1～2 前見返し 3
世界史への扉	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、シュメール人の都市国家と自然環境のかかわりについて記述した（第4号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、宋・元代の中国と日本の民間貿易について記述した（第5号）。 ・生活との関連を重視する態度を養う観点から、人々の日常生活において身近なスポーツであるサッカーを取り上げ、その起源と今日までの変遷について記述した（第2号）。 ・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が主体的に学習できる課題例を設けた（第2号）。 	p. 8～9 p. 10～11 p. 12～13 p. 9, 11, 13
序章	<ul style="list-style-type: none"> ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、ビッグバンによって地球が誕生したのち、地球環境の変化が生命の歴史に大きな影響を与えてきたことについて記述した（第4号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 	p. 16～17 p. 21
第1章	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、西アジア世界・地中海世界の自然環境の特色とそれに適応した人々の営みについて記述した（第4号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた（第3号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。 	p. 22～23 p. 27, 47, 49 p. 35, 38, 41, 42, 47 p. 36, 44 p. 51
第2章	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、南アジア世界・東南アジア世界の自然環境の特色とそれに適応した人々の営みについて記述した（第4号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。 	p. 52～53 p. 56, 65 p. 56 p. 61

第3章	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、東アジア世界の自然環境の特色とそれに適応した人々の営みについて記述した（第4号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた（第3号） ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、2世紀までの日本の歴史について詳述した（第5号）。 	<p>p. 66～67</p> <p>p. 72, 76</p> <p>p. 71</p> <p>p. 77</p> <p>p. 80～81</p>
第4章	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、中央ユーラシア世界の自然環境の特色とそれに適応した人々の営みについて記述した（第4号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた（第3号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、3～9世紀の日本の歴史について詳述した（第5号）。 ・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が主体的に学習できる課題例を設けた（第2号）。 	<p>p. 82～83</p> <p>p. 87, 96, 97</p> <p>p. 95</p> <p>p. 98～102</p> <p>p. 103</p>
第5章	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、アフリカ世界と南北アメリカ世界の自然環境の特色とそれに適応した人々の営みについて記述した（第4号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 	<p>p. 104～105</p> <p>p. 109</p>
第6章	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた（第3号）。 	<p>p. 113, 122</p> <p>p. 115</p> <p>p. 117</p>
第7章	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、ヨーロッパ世界の自然環境の特色とそれに適応した人々の営みについて記述した（第4号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた（第3号）。 	<p>p. 128～129</p> <p>p. 133, 134, 136, 139, 145, 146, など</p> <p>p. 135, 139, 147, 149</p> <p>p. 144</p>

第8章	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。 ・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が主体的に学習できる課題例を設けた（第2号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、10～13世紀の日本の歴史について詳述した（第5号）。 	<p>p. 158, 159, 166, 168</p> <p>p. 162</p> <p>p. 177</p> <p>p. 178～179</p>
第9章	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた（第3号）。 	<p>p. 183, 193, 196, 197, 199, 202, など</p> <p>p. 195, 206, 208</p> <p>p. 201</p> <p>p. 210</p>
第10章	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、14～18世紀の日本の歴史について詳述した（第5号）。 	<p>p. 220, 222, 223, 226, 230, 234, など</p> <p>p. 224, 231, 243</p> <p>p. 240～243</p>
第11章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた（第3号）。 	<p>p. 252</p> <p>p. 252</p> <p>p. 258</p>
第12章	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。 ・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が主体的に学習できる課題例を設けた（第2号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた（第3号）。 	<p>p. 265, 266, 268, 270, 271, 275, など</p> <p>p. 269, 271</p> <p>p. 274</p> <p>p. 279</p> <p>p. 283</p>

第13章	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、生徒の興味関心を喚起しつつ世界史学習をより深めることができるコラムを設けた(第1号)。 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した(第2号)。 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた(第5号)。 男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた(第3号)。 	<p>p. 287, 289, 294, 311, 316, 325</p> <p>p. 290, 294, 299, 302, 307, 310, など</p> <p>p. 295, 302, 305, 308</p> <p>p. 315, 328</p>
第14章	<ul style="list-style-type: none"> 男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性史を扱ったコラムを設けた(第3号)。 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた(第1号)。 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した(第2号)。 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた(第5号)。 	<p>p. 335, 344, 352</p> <p>p. 336, 341, 351, 356, 367</p> <p>p. 338, 342, 346, 348, 349, 353, など</p> <p>p. 358</p>
第15章	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた(第1号)。 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した(第2号)。 	<p>p. 374, 381, 384, 389, 395</p> <p>p. 378, 379, 384, 388, 391, 393, など</p>
第16章	<ul style="list-style-type: none"> 自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、地球環境問題とそれに対する国際的取り組み、人間の安全保障などについて記述した(第4号)。 自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が主体的に学習できる課題例を設けた(第2号)。 	<p>p. 424~425</p> <p>p. 426~427</p>
後見返し	<ul style="list-style-type: none"> 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、ヨーロッパ人名対照表や現在の世界地図を掲載した(第5号)。 	後見返し 4~6

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 学校教育法第五十一条二項(一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること)に即して、海域アジア史(8章4, 9章2など)や東アジア近現代史(13章7・8, 14章3など)、ヨーロッパ中世史(7章)などを中心に、歴史学の新しい研究成果を盛り込んで記述した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-35	高等学校	地理歴史	世界史B	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	世B309	世界史B 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

大学受験をめざして詳細な世界史学習を希望する生徒を対象とし、生徒が本書を通じて歴史的思考力を培えるよう、以下の点について配慮した。

- 1) 海域アジア史、近現代東アジア史、ヨーロッパ中世史などをはじめ全編にわたって近年の研究成果をふまえ、世界史の大きな枠組みと展開を理解できるよう、丁寧にわかりやすく記述した。
- 2) 複雑な戦後史のタテの流れ（地域史）とヨコの関係（国際関係史）をわかりやすく学習できるよう、15章1節で冷戦期の国際関係を概観し、2節以降は地域別の配列とした。
- 3) 本文を理解するうえで重要な歴史用語については、「キーワード」で丁寧に解説した。
- 4) 多様な視点から世界史学習を深め、生徒の興味・関心を高められるよう、社会史をはじめとする新しい研究成果を盛り込んだコラム「世界史の探究」を随所に設けた。
- 5) 本文記述からは見えてこない、各時代・地域の女性のありように着目したコラム「世界史のなかのジェンダー」を随所に設けた。
- 6) 生徒が各時代における世界と日本を関連付けながら学習できるよう、世界と日本の関わりを示す事例を取り上げたコラム「世界史のなかの日本」を随所に設けた。また、日本史・朝鮮史をあつかう節を各時代に設け、周辺諸国との関わりのなかで日本の伝統と文化がはぐくまれてきたことに留意しながら詳述した。
- 7) 生徒が地理的条件と関連付けながら世界史を学べるように、第1～5、7章の章扉でそれぞれの地域世界の自然環境を概観できるようにした。
- 8) 同時代の諸地域の関係・交流を概観できるよう、各時代に特集「□世紀の世界」を設けた。また、ヨーロッパ史や中国史など、それぞれの地域の歴史を通して学習する際に役立つよう「地域別インデックス」を設けた。
- 9) 各節の内容をコンパクトに整理した「リード文」を各節冒頭に設け、授業の導入として活用できるようにした。
- 10) 生徒が学んだ知識を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し成果などを表現するために必要な思考・判断・表現力を養うため、さまざまな図版・統計資料を活用する課題例を盛り込んだ特集「テーマ」を各部に設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
世界史への扉 1 自然環境からみたシュメール人の都市国家	(1)世界史への扉 ア 自然環境と人類のかかわり	p. 8～9	1
2 歴史上にみる日本と中国の民間貿易	イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり	p. 10～11	1
3 サッカーと世界史	ウ 日常生活にみる世界の歴史	p. 12～13	1
序章 ビッグバンから人類の出現へ	(2)諸地域世界の形成 ア 西アジア世界・地中海世界	p. 14～21	2
第1章 西アジア世界と地中海世界		p. 22～51	10
第2章 南アジア世界と東南アジア世界	イ 南アジア世界・東南アジア世界	p. 52～65	4
第3章 東アジア世界	ウ 東アジア世界・内陸アジア世界	p. 66～81	6
第4章 中央ユーラシア世界と東アジア世界の展開		p. 82～102	5
テーマ1 唐代までの東アジアの国際関係	エ 時間軸からみる諸地域世界	p. 103	1
第5章 アフリカ世界と南北アメリカ世界	(3)諸地域世界の交流と再編 ア イスラーム世界の形成と拡大	p. 104～109	2
第6章 イスラームの広がりと言アジア世界の展開		p. 110～127	6
第7章 ヨーロッパ世界の形成と展開	イ ヨーロッパ世界の形成と展開	p. 128～155	10
第8章 中央ユーラシア世界と諸地域の交流・再編	ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界	p. 156～176 p. 178～179	9
テーマ2 第1次大交易時代とイン=バットウータの大旅行	エ 空間軸からみる諸地域世界	p. 177	1
第9章 近世ヨーロッパと大航海時代	(4)諸地域世界の結合と変容 イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界	p. 180～219	13
第10章 アジア諸地域の帝国と第2次大交易時代	ア アジア諸地域の繁栄と日本	p. 220～243	8
第11章 環大西洋革命とパクス=ブリタニカ	ウ 産業社会と国民国家の形成	p. 244～261	6
第12章 近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家		p. 262～278 p. 280～283	7
テーマ3 資料から読みとくアメリカの黒人奴隷制度	オ 資料からよみとく歴史の世界	p. 279	1
第13章 地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	エ 世界市場の形成と日本 (5)地球世界の到来 ア 帝国主義と社会の変容	p. 284～331	14
第14章 二つの世界大戦	イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現	p. 332～371	12

第 15 章 冷戦から多極的国際社会へ	ウ 米ソ冷戦と第三世界	p. 372～409	12
第 16 章 グローバリゼーションと地球環境の危機	エ グローバル化した世界と日本	p. 410～425	6
テーマ 4 資料を活用して探究する地球世界の課題	オ 資料を活用して探究する地球世界の課題	p. 426～427	2
		計	140